

若手研究者コラムリレー

鄭 稼棋 (ぜ ちゃち)



プロフィール

東京理科大学教養教育研究院 / 講師
日本体育学会の専門領域: スポーツ人類学
台湾出身
<学歴>
2008年 国立台湾師範大学 教育修士 取得
2014年 早稲田大学 スポーツ科学博士 取得

<職歴>
鹿屋体育大学 特任講師
2020東京オリンピックパラリンピック 競技大会組織委員会 職員
E-mail: cheng@rs.tus.ac.jp



わたしの研究

日本体育・スポーツ・健康学会 の未来を本気で考える！

私は、早稲田大学大学院で作成した博士論文、調査報告では、中国におこなわれる「少数民族伝統スポーツ大会」を取り上げ、これを民族問題として分析した。

その中、少数民族運動会の開催は観光業の発展に繋がると考えられていることも論じた。
また、日本、台湾における、文化資源、文化遺産として、観光化の研究にも関心を持ち、研究に着手してきている。

2020東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会に務めたことをきっかけに、障がい者スポーツ、パラスポーツにも関心があり、現在は所属している大学にて、パラスポーツ体験授業を行なっている。



わたしの渾身の論文・書籍・記事

Community Formation through the Cultural Heritage of the Japanese Colonial Period: A Case Study of Kaohsiung Butokuden (Martial Arts Hall) in Taiwan JThe International Journal of the History of Sport, 2021年3月

必読

(なんでも帳)

スポーツは社会の縮図だと言う。社会で起こり得る問題はスポーツの中にさまざま存在するので、スポーツを通して社会で生きるための考え方や生き方が学べるかと思う。

また、オリンピックパラリンピックなどの国際大会は、国境を越え、スポーツを通じ、交流を行なっている。

グローバル社会現在、我々スポーツ科学の研究者も国境を越え、責任を負い、スポーツに関わる問題解決策を分析すべきだろうか。これからは研究者や指導者の皆様と、スポーツの魅力を再発見し、スポーツの力で共生社会を構築できることを期待している。

日本体育・スポーツ・健康学会
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！ → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com

